

平成30年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「JICA世界ふれあいひろば」 NGO相談窓口設置

企画実施概要: ①実施内容 JICA世界ふれあいひろばのイベントにおいてNGO相談窓口を設置し、NGO全般にかかわる相談業務を行う

②対象者および参加人数 対象者: 学生および一般市民
参加人数: イベント参加者(延べ900人) 相談窓口利用者(12名)

2 出張者氏名 岡田 朋子

3 依頼元／主催団体名 JICA北海道

4 実施予定日時 平成30年9月1日(土) 10:00～15:00

5 実施場所 JICA北海道(札幌市白石区)

6 実施報告 イベントには親子連れなど多くの市民の方が参加し、ステージやNGOブース、JICA研修員との交流ブースで国際協力・交流について知ってもらう良い機会となった。NGO相談窓口においてもNGOのことを今まであまり知らなかったがどういう活動をしているのか教えてほしい、自分もボランティアなどでかかわりたいので情報が欲しいといった相談が多くあり、各NGO団体につなげより深く活動を知ってもらったり、NGOが行っている国際協力活動について知ってもらうことができた。

7 写真

	
NGO相談ブースでの様子	NGO相談ブースでの様子

平成30年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： ふくしまグローバルセミナー2018

企画実施概要： ①実施内容
ふくしまグローバルセミナーにて、難民を知るワークショップを実施する。
②対象者および参加人数
福島県民(高校生以上)。ワークショップ参加人数28人。

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元／主催団体名 福島県国際理解教育ネットワーク

4 実施予定日時 平成30年9月22日(土) 13:00～14:30

5 実施場所 二本松青年海外協力隊訓練所(JICA二本松)(福島県二本松市)

6 実施報告 弊団体のODAで行っているシリア難民支援を元に作ったワークショップを行い、日本が行っている国際協力活動について参加者の理解を促進した。
参加者の感想
・難民を支援する仕事に興味を持ちました。NGOの活動をもっとたくさんの人に伝えていきたい。
・世界中に多くの難民がいることをもっと知ること、何が自分には出来るかを考えることが大事だと思った。
・難民の人々の生活を具体的にイメージすることが出来る機会になった。

7 写真



弊団体の難民支援の活動についての説明。



難民を知るワークショップの最後。
シリア内戦前の子どもたちの写真を紹介。

平成30年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「豊かさの開発」ワークショップ

企画実施概要: ①実施内容
JICA岩手デスクとの共同企画。
・弊団体のODA資金を活用した事業や相談員制度の紹介。
・豊かな社会にとって必要なこととは何かを問うワークショップ。
②対象者および参加人数
一般市民対象。参加者 25人 オブザーブ1人

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元／主催団体名 認定NPO法人IVY（共催JICA東北）

4 実施予定日時 平成30年9月8日(土) 13:30～15:30

5 実施場所 一関市民センター(岩手県一関市)

6 実施報告 一関市で行う初めての出張サービスとなった。国際関係に関心の高い高校生が集まり、積極的に「豊かな社会」について語り合う場となった。
参加者の感想
・今の日本を含む世界の現状をどうしたらいいのかを深く考えることが出来た。
・(昨年盛岡市で実施した出張サービスにも参加した高校生)初対面の人と話し合う機会は少ないので、今回2回目の参加だったが、今後も機会があれば参加したい。
・「豊かさ」とは、仕事が多い、給料が高い、貧困の人がいないという視点でしか考えていなかったが、環境や差別など様々な視点から見た豊かさがあることを知った。

7 写真



弊団体のODA資金で行っている活動を紹介。



「豊かな社会に必要なこと」カードを選んでいるところ。

平成30年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： せんだい地球フェスタ2018

企画実施概要：

①実施内容

国際協力、国際交流、多文化共生等の団体が参加し、フェスタ全体で8,100人が来場した。IVYではブース出展を行い、弊団体の活動紹介を行うとともに、地球フェスタ関連事業として、「難民」に関するワークショップを実施し、市民の国際協力、ODA事業に対する理解促進に努めた。

1)ブース出展での業務内容

①相談対応

②来場者が「国際協カクイズ」への参加を通じて、シリア・イラク支援事業（N連、JPF助成事業）、ミャンマー避難民支援事業（JPF助成事業）、カンボジア支援事業（N連事業）などに関する活動紹介を行った。

③来場者へ「カンボジアの数字で足し算をしよう」問題を通じて、IVYユース（大学生組織）が行っているカンボジアの小学校に対する算数教育支援の活動紹介を行った。

④国際協力の団体ブースを回り、NGO相談員制度の広報、各団体との情報共有を行った。

2)「難民」を知るワークショップ～ミャンマー避難民編～

9月より事業を開始したミャンマー避難民をテーマに、難民キャンプの現状と起きている問題、問題の原因を考えるワークショップを行った上で、ODAを活用した国際協力活動について紹介することにより、市民の理解を促した。

両会場において相談員チラシを配布し、相談員制度、出張サービスなどの周知を行った。

2 出張者氏名 阿部 真理子、小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名 仙台国際センター、青葉の風テラス

4 実施予定日時 平成30年9月17日(月) 10:00～16:00

5 実施場所 仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

6 実施報告 <「難民」を知るワークショップの参加者アンケートから>

・難民がうまれてしまう理由、そして彼らがどのような状況で生活しているか、参加しながら学ぶことができた。

・写真や資料を活用しながら考えることで、より理解が深まった。ロヒンギヤの人々に関する詳細が明らかになり、とても勉強になった。

・全ての人の生存を保障するという環境作りが必要だと感じた。

<所感>

・「国際協カクイズ」では、各事業にまつわるクイズを三択で選べるようにしたことで、幅広い年齢層の方に参加いただくことができた。また、クイズの回答と共に事業紹介を行ったことで、来場者が各事業に対し理解を深めながら話を進めることができた。

・ブースを訪れた来場者がワークショップにも参加したことで、より詳しく事業ないようを知ってもらえる機会となった。一方で、ワークショップ会場がフェスタ本会場と別の建物で行われたことから、参加者の確保が難しかった。次年度ワークショップを開催する場合には、同じ建物内で行えるよう主催者側と協議したい。

7 写真



ブース前には、ODAを活用した
事業紹介パネルを設置した



「国際協カクイズ」の答え合わせと
共に、事業紹介を行った



「国際協カクイズ」をきっかけに、
NGOへの就職相談を受ける相談員



カンボジアの算数足し算問題に抗戦する小学生



ワークショップにて、ミャンマーから逃れてきた
ロヒンギャの人々について説明する相談員



ワークショップで、ミャンマーから逃れる経緯を
写真を使い時系列に並べる参加者

平成30年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「グローバルフェスタJAPAN2018」での相談対応

企画実施概要: ①実施内容:「NGO相談員ブース」において、全国のNGO相談員によるシフトを組み、開場時間通して1～3名体制で相談に対応し、来場者の個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供する。
②対象者および参加人数: イベント参加者のうち約80名

2 出張者氏名

- (1)(特活)日本国際ボランティアセンター 細野 純也(事務局次長)
- (2)(特活)IVY 安達 三千代
- (3)(特活)国際協力NGOセンター 伊藤衆子 / 堀内葵
- (4)(特活)開発協力協会 中村絵乃 / 八木亜紀子
- (5)(特活)アイキャン 吉田 文
- (6)(公社)日本国際民間協力会 大豊 盛重
- (7)(公財)PHD協会 古寺 瑞代
- (8)(特活)ピースウィンズ・ジャパン 里 修三 / 徳 恵理子 / 町 浩一郎
- (9)(特活)えひめグローバルネットワーク 竹内よし子

3 依頼元／主催団体名 グローバルフェスタJAPAN2018実行委員会

4 実施予定日時 平成30年9月29日(土) 10:00～17:00

平成30年9月30日(日) 10:00～17:00 (台風のため中止)

5 実施場所 お台場センタープロムナード(シンボルプロムナード公園内)
(東京都江東区)

6 実施報告 ・グローバルフェスタはイベント自体が大規模であることから、例年、来場者の関心の幅も広い。様々な活動分野と知見を持つNGO相談員団体がここに専門のブースを設置して職員を配置し、時間をとって来場者の個別質問に答えることができたことは、本制度の趣旨に沿う取り組みである。
・例年多く見られる一般学生によるキャリア相談に加えて、今年は個別技能を持った社会人によるキャリア相談(看護師、デザイナー、栄養士など)も見受けられた。国際協力での活躍に関心を持つ社会人にとっての、「最初の関わり方」に関する事例紹介の情報などを提供できるといえるかもしれない。
・台風24号の接近もあって1日目の午前中から雨が降り出しており、先立ってイベント前日の時点で2日目(9月30日)の開催中止が決定された。そのため、相談員ブースとしても質問件数を重ねることは状況的に難しかったが、逆に1件1件の質問に時間をかけて対応することができた。相談件数:59件、相談人数:30人。

7 写真



来場者に個別に対応することで、国際協力への関心を深めることにつなげる



それぞれ活動分野が異なる相談員団体が対応にあたったため、広範囲の質問に対して対応できた

平成30年10月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 多文化が共生する県民フェスタ

企画実施概要： ①実施内容：石川県各地から多くの国の人が参加する多文化共生イベントのJICAボランティア北陸SV会ブースに共同出展し、NGO活動紹介を実施した。
②対象者および参加人数：県内から幅広い年齢層に加え、金沢という場所がら外国人観光客も多く来場。例年1万人の来場者、今年は台風の影響で5500人のであった。

2 出張者氏名 堀川絵美

3 依頼元／主催団体名 金沢駅前にぎわい協議会

4 実施予定日時 平成30年9月30日(日) 10:00～16:00

5 実施場所 リファーレ(石川県金沢市)

6 実施報告
・愛知県にもいろいろな団体があることを知った。大変興味深い。
・知人が名古屋にいてNGO活動をしている。石川県ともつながりができたらいいと思った。
・県や地域を超えて、情報を共有することは大切。東海地区の活動を知ることができてよかった。

7 写真



会場の様子



ブースの様子

平成30年11月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：**兵庫県立高砂南高校における国際協力に関する講演：
「持続可能な開発目標（SDGs）、世界の課題と私たちの生活とのつながり」
- 企画実施概要：**
- ①実施内容：
SDGsを軸に、世界の課題の現状や構造、国際協力の潮流や我が国の取り組み、地域のNGOの活動を紹介。SDGsや国際協力を自身の生活に引き寄せて考える機会を提供する。
 - ②実施対象者：
兵庫県立高砂南高校2年「国際社会探求」受講者16名、教員4名

2 出張者氏名 谷川詩織

3 依頼元／主催団体名 兵庫県立高砂南高校

4 実施日時 平成30年9月27日（木） 9:40～10:30

5 実施場所 兵庫県立高砂南高等学校
兵庫県高砂市

6 実施報告

- ・地域で国際協力NGOのスタッフの話を聞く機会が非常に少ないこともあり、生徒はメモをとりながら非常に熱心に話を聞いていた。講演中の問いかけにもうなずいたり、手を上げたりとよい反応を示してくれた。
- ・また、教員の参加多く、参加できなかった教員にも今回の講義内容を共有したいという相談もあった
- ・講演後には生徒が質問に並び、休み時間中に全ての対応ができなかったが、関心のある課題に取り組んでいるNGOを知りたい、自分たち高校生にできることを知りたいなどの質問が多く寄せられた。

7 写真



講演中の様子①



講演中の様子②

平成30年11月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：**立命館宇治高等学校における「日本の国際協力とNGOの活動～SDGsの視点から国際協力の潮流を考える～」講演の実施
- 企画実施概要：**
- ①実施内容：
世界的な課題や社会問題の解決にむけて、日本のODA、NGOが果たしてきた役割、SDGsの視点から国際協力の潮流を学び、ユースのアクションや提言について考える講演の実施。
 - ②実施対象者：
立命館宇治高等学校2年生 120名（30名×4クラス）

2 出張者氏名 谷川詩織

3 依頼元／主催団体名 立命館宇治高等学校

4 実施日時 平成30年9月18日(火) 10:55～15:20

5 実施場所 立命館宇治高等学校
京都府宇治市

6 実施報告

- ・クラスによって反応の差はあったものの、生徒への問いかけを講演に多く取り入れ、生徒はうなずきや問いに答えるなど反応をしながら講演を聞いていた。
- ・身近なものと国際課題との繋がりを紹介し、動画を交えながらの講演であったが、真剣な表情で聞く様子がうかがえた
- ・生徒たちは、今後の授業の中で、SDGsをテーマに取り入れながら国際課題について調べ、取り組む課題を設定し、自分たちができる解決策を考え発表を行うとのことであった。

7 写真



当日の生徒と相談員の写真

NGO相談員による出張サービス実施報告

記

1 企画名および企画概要

企画名： ガールスカウト兵庫県第24団での国際協力についての講演

企画実施概要： ①実施内容 途上国の課題と国際協力の具体例について話をした。募金活動を行う際のポイントや注意点などを話した。
②対象者および参加人数 ガールスカウトスタッフとメンバー計3名

2 出張者氏名 芳田 弓生希

3 依頼元／主催団体 ガールスカウト兵庫県24団

4 実施予定日時 平成30年9月8日(土) 16:00～17:00

5 実施場所 東播磨生活創造センター(兵庫県加古川市)

6 実施報告 まずは、NGO相談員制度の概要とその活用法について説明を行った。次に国際協力についての概要、途上国の課題についてネパールやインドネシアの村を例に話をした。また、ガールスカウトが行っている街頭募金も足元でできる国際協力の一つであるため、相談員の募金活動に関わった経験を交えて、どのように募金活動を行うのかを説明した。参加者からの質問としては、「街頭募金を行う際に、どのようにアピールすればよいのか？」というものがあつた。いかに支援する団体と募金の活用方法を短いフレーズで説明するのが大切であると伝えた。

7 写真

	
NGO相談員制度について説明	ネパール、インドネシアの村の課題などについて話す。また、募金活動をする際のボードなどを紹介

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 第3回ESD実践研究集会

企画実施概要： ①実施内容
第3回ESD実践研究集会にて、ポスターセッションを行い、そこで日本の国際協力の概要について話し、NGO相談員について広報を行い、その後、NGO相談員ブースを出展し、説明会参加者からの相談を受け付ける。

②対象者および参加人数
NPO/NGO関係者、教育関係者、大学生 100人

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 神戸大学大学院人間発達環境学研究科

4 実施予定日時 平成30年9月29日(土) 11:30～18:00

5 実施場所 神戸大学大学院人間発達環境学研究科A・B棟
(兵庫県神戸市灘区)

6 実施報告 神戸大学で開催された表題の会にて、NGO相談員ブースの実施とポスターセッションでのNGO相談員制度の広報を実施した。
まずポスターセッションではESD実践研究集会の多様な参加者、大学教員、学生、NGO、NPO、生活協同組合、企業、行政関係者にNGO相談員制度のことをPRできたことは大きな成果だったと言える。

ポスターセッション後には多くの方がブースに訪れてくれ、相談対応を行った。特に学校教員からの相談が多く、国際担当になって生徒と国際協力を指導しないといけないが、何をすればいいかわからない、という相談対応も行った。相談者は大変困っていたので、強く感謝された。またタイに生徒と行く計画をしていたので、タイに強いNGOの紹介を行うこととなった。

上記のようにPRの面、相談対応共に充実した出張サービスとなった。

7 写真



平成30年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: グローバルフェスタJAPAN2018

企画実施概要: ①実施内容
NGO相談ブースにおいて、全国のNGO相談員とシフトを組み、相談対応を行う。来場者の個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供する。

②対象者および参加人数
来場者数: 9月29日(土) 43,888名

2 出張者氏名 竹内よし子

3 依頼元／主催団体名 日本国際ボランティアセンター／グローバルフェスタJAPAN2018実行委員会

4 実施日時 平成30年9月29日(土) 10:00～17:00

5 実施場所 (東京都江東区 センタープロムナード)

6 実施報告 ①実施内容
NGO相談ブースにおいて、全国のNGO相談員とシフトを組み、相談対応を行った。来場者の個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供した。企業からの相談内容の一つ目は、就職相談として、貿易関係企業からNGOへの転職を考えているとのことだったので、JICAパートナーのHPを紹介。また、IKEUCHI ORGANICなど、具体的なオーガニックでフェアトレードの綿花の仕入れからこだわっている企業もあることを紹介した。二つ目はフェアトレードに関する相談だったので、第3世界ショップやオルタートレード、日本のフェアトレードタウン、フェアトレード大学などの紹介とともに、EGNがJICA委託事業で行っているフェアトレード研修に関しても情報提供した。
②ノルウェーからの留学生より、日本のODAと企業・NGOとの関係・連携に関する相談があり、相談員チラシ、「国際協力とNGO」「世界でいきる・にほんがいきる」の冊子などを提供し連携状況の説明を行った。
③企業(栄養士)より、NGOに関わりたいとの相談があり、NGOのいろいろな活動について情報提供し、「国際協力とNGO」の冊子を活用して栄養改善事例など紹介したほか、企業のCSRとSDGsに関する動きとの連携についてグローバルフェスタで情報収集することを提案した。
④学生よりインターンに関する相談があり、どのようなNGO活動に興味があるか、インターン希望期間など意見交換し事例紹介を行った。また、相談対応の質の向上を目指して、各ブースを回って資料・情報収集を行った。
(9/30は台風のため中止となり飛行機を10/1に振替)
⑤すべてのブースを回って情報収集も集中して行うことが出来、これから予定している香川や高知の国際協力イベント参加・出張サービスで大いにこの情報活用ができるよう準備できた。

7 写真



平成30年11月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： NGO相談員って何だろう？

企画実施概要： ①実施内容
「Silencio Roto 16 Nikkeis」の映画上映の際にコーナーを設け、NGO相談員制度や当センターの活動内容について紹介。
②対象者および参加人数
地域住民100名

2 出張者氏名

上原真紀、眞壁由香
(多くの方への相談対応をスムーズに進めるため、2名体制で実施)

3 依頼元／主催団体名「Silencio Roto 16 Nikkeis」実行委員会

4 実施予定日時 平成30年9月30日(日) 10:00～16:00

5 実施場所 沖縄市民小劇場あしびなー(沖縄県沖縄市)

6 実施報告 映画に参加した方は、国際社会や市民活動等に関心が高く、上映後も現在のアルゼンチンの情勢や海外での取り組みについて質問があった。
中には、映画を通して知った事実を、発信していきたいと、自分でもできることはないかと相談があり、当センターの活動紹介に繋がった。
今後、参加者が一歩踏み出すサポートができるよう、NGO相談員の広報にもつながった。

7 写真



NGO相談員制度について説明している様子